

障がい者・高年者の陶芸教室

申込 市社会福祉協議会
 問合せ ☎35-0294 FAX34-6736

対象 市内在住の障がい者および60歳以上の方
期日 9月14日(金)、15日(土)、21日(金)、28日(金) ※4回受講
時間 午後1時30分～3時30分
場所 市総合福祉センター(昭和町2)
参加料 500円(材料代)
申込方法 9月7日(金)までに窓口・TEL・FAX

陶芸教室のサポートボランティアも募集中です

自ら楽しみながら、参加者とふれあい、サポートいただける方をお待ちしています。

手話奉仕員養成講座(基礎過程)

申込 福祉課 ☎35-3139
 問合せ 福祉サービス公社 ☎57-7294

手話奉仕員として活動する方の養成講座を開講します(受講内容は日常生活程度の手話取得です)。
対象 市内在住で入門課程修了の方または同等レベルの方
期日 9月26日から平成25年3月27日までの毎週水曜日
時間 午後7時～9時
場所 市役所(花岡町2)
参加料 1,470円(テキスト代)
申込方法 9月12日(水)までにTEL

デジタルアーカイブ・コーディネータ資格取得講座

問合せ 岐阜女子大学 文化創造学部 アーカイブ専修 ☎058-214-9341
 HP: <http://hkl.gijodai.ac.jp/>

岐阜女子大学では、地域の文化をデジタル化し、地域づくりや学校教育、観光などに活用できるデジタルアーカイブ・コーディネータを養成する講座を開講します。
対象 女子高校生で教員や博物館学芸員、図書館司書などに進路希望している生徒
期日 10月13日(土)～14日(日)
場所 教育研究所(一之宮支所内)
定員 30人(先着順)
参加料 1,000円(テキスト代)
申込方法 10月10日(水)までに FAX (058-229-2222)・MAIL (pfe01173@nifty.com)

高年者囲碁大会

申込 市社会福祉協議会
 問合せ ☎35-0294 FAX34-6736

対象 市内在住の60歳以上の方
期日 9月21日(金)
時間 午前9時30分～午後5時
場所 市総合福祉センター(昭和町2)
定員 100人
参加料 1,500円(昼食代含む)
申込方法 9月14日(金)までに窓口・TEL・FAX

酒害相談

問合せ 岐阜県精神保健福祉センター ☎058-273-1111(内線2252)

アルコール依存に関する本人や家族の専門相談を行います(相談無料・事前申込不要)。
日時 9月16日(日)、10月21日(日)、11月18日(日)、12月16日(日)のいずれも午後1時～3時
場所 市総合福祉センター(昭和町2)

障がい者ふれあい魚釣り大会

申込 市社会福祉協議会
 問合せ ☎35-0294 FAX34-6736

期日 9月19日(水)
時間 午後1時～3時30分
場所 赤保木公園(赤保木町)
参加資格 在宅の障がい者の方および各福祉施設利用者
定員 200人
参加料 無料
申込方法 9月13日(木)までに TEL・FAX

難病医療福祉相談会

問合せ 難病生きがいサポートセンター ☎058-252-3567

難病でお悩みの方や家族の方に対する専門医との個人面談を行います(相談無料、事前申込不要)。
日時 9月16日(日) 午後1時～4時
※受付は午後0時30分～3時
場所 古川町総合会館(飛騨市古川町若宮2)

荒城農業体験交流館体験教室

申込 荒城農業体験交流館
 問合せ ☎72-1066 FAX72-1067

対象 ●市内在住・在勤の方 **場所** ●荒城農業体験交流館(国府町八日町)
申込方法 ●TEL(火曜日を除く)・FAX ※定員を超えた場合は抽選

体験教室名	期日	時間	定員	参加費	申込期限
うどん打ち体験教室	9月19日(水)	午後7時～9時30分	15人	500円	9月12日(水)
グラスアート教室(3回受講)	9月20日(木) 10月4日(木) 10月18日(木)	午前10時～正午 午後7時～9時	午前・午後ともに10人	1,500円	9月7日(金)

※なお、陶芸教室は随時受付中です!

家庭でもできる 節電ポイント

⑦省エネ機器で節電

また設置の際は、国や市の助成制度を活用することもできます。

③ **コンセントを抜く、便利な機能や機器を活用する**

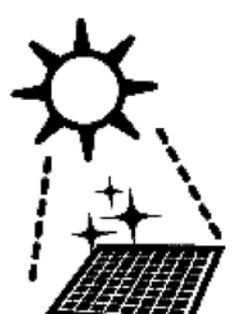
使用していない機器のコンセントは抜きましょう。また省エネモード等、機器の便利な機能や節電グッズを活用しましょう。

① **省エネタイプの電化製品を導入する**

電化製品、OA機器も日々進化しています。省エネタイプ、高効率の電化製品を導入することで効果的に節電できます。

② **住宅用太陽光発電システムを設置する**

太陽光発電(太陽電池)は、太陽光エネルギーを電気エネルギーに変換して利用することができます。



節電は今夏だけの特別な試みではありません。地球温暖化対策のため、将来につながる取り組みとして持続的な省エネ活動としましょう。